



さやかサポートセンター外観(かいかん)

今年(ことし)の1月(がつ)より外観(がいかん)がリニューアルされ、あか(あか)明るい雰囲気(ふんいき)になりました!



天満15号(てんま15ごう)

秩父(ちちぶ)手をつなぐ育成会(いくせいかい)、天満(てんま)敦子(あつこ)チャリティーコンサート(コンサート)の収益金(しゅうえききん)により頂いた(いただ)車(くるま)です。大事(だいじ)に使わせて頂(つか)きます!

さやかサポートセンター連絡先(れんらくさき)

住所(じゅうしょ) : 〒368-0032

秩父市(ちちぶ)熊木町(くまぎ)12-21

電話(でんわ) : 0494-21-7171 / FAX : 0494-24-9963

ご相談(そうだん)・ご予約(よやく)はこちらまでご連絡(れんらく)ください。

今年(ことし)度の行事(ぎょうじ)のお知らせ

さやかグループ大運動会(だいろんどうかい)

平成(へいせい)28年(ねん)5月(がつ)28日(にち) (土) 午前(ごぜん)10時(じ)~午後(ごご)2時(じ)30分(ぶん) 秩父(ちちぶ)市(し)文化(ぶんか)体育(たいいく)センター

さやかグループ納涼祭(のうりょうさい)

平成(へいせい)28年(ねん)8月(がつ)6日(にち) (土) 午後(ごご)4時(じ)~ さやか特設(とくせつ)会場(かいじょう)

大規模(だいきぼ)防災(ぼうさい)訓練(くんれん)

平成(へいせい)28年(ねん)8月(がつ)27日(にち) (土) さやかサポートセンター (避難(ひなん)訓練(くんれん)・炊き出し(おこが)を行います)

さやかのつどい

平成(へいせい)28年(ねん)11月(がつ)20日(にち) (日) 午前(ごぜん)10時(じ)~午後(ごご)2時(じ) さやか特設(とくせつ)会場(かいじょう)

秩父(ちちぶ)夜祭(よまつり)

平成(へいせい)28年(ねん)12月(がつ)3日(にち) (土) さやかサポートセンター (休憩(きゅうけい)所(じょ)を開設(かいせつ)します)



つるし柿

さやかサポートセンターだより

機関紙(きかんし) 第5号(だいごごう)

発行日(はっこうび) : 2016年(ねん)5月(がつ)1日(にち)

発行者(はっこうしゃ) : 社会福祉(しゃかいふくし)法人(ほうじん)清心会(せいしんかい)

さやかサポートセンター



秩父(ちちぶ)札所(だしよ)十五番(じゅうごばん) 少林寺(しょうりんじ)

今年(ことし)度(ど)4月(がつ)に施行(しこう)された「障害(しょうがい)者(しゃ)差別(さべつ)解消法(かいしょうほう)」と「障害(しょうがい)者(しゃ)総合(そうごう)支援法(しえんほう)3年(ねん)後(ご)の見直し法(みなおほう)」。とりわけ「障害(しょうがい)者(しゃ)差別(さべつ)解消法(かいしょうほう)」は、日本(にほん)が国際(こくさい)権利(けんり)条約(じょうやく)署名(しやうめい)、批准(ひじゆん)、発効(はっこう)に至る過程(いた)で必要(ひつよう)な国内法(こくないほう)最後(さいご)の法律(ほりりつ)となります。

行政(ぎょうせい)機関(きかん)において、「合理的(ごうりてき)配慮(はいりよ)」 「社会(しゃかい)障壁(しょうへき)の除去(じょきよ)」など障害(しょうがい)者(しゃ)にむかおう現場(げんば)の対応(たいおう)がどう変わ(か)って行くのか、福祉(ふくし)サービス提供(たいき)事業(じぎょう)に携(たず)さわる私(わたし)たちもまた、どんな役割(やくわり)を果た(は)さねばならないか、「総合(そうごう)支援法(しえんほう)」の理念(りねん)に定義(ていぎ)された「共生(きょうせい)社会(しゃかい)」実現(じつげん)に向けて努力(む)して参(まゐ)ります。

総合施設長(そうごうしせつちやう) 村山(むらやま) 勇治(ゆうじ)

さやかサポートセンター スタッフ紹介(しょうかい)

総合施設長(そうごうしせつちやう) … 村山(むらやま) 勇治(ゆうじ)

所長(しやうちやう) … 小菅(こすげ) つね子(こ)、田島(たしま) 健一(けんいち)

スタッフ… 田端(たばた) 義郎(ぎらう)、荻原(おぎはら) 幸穂(ゆきほ)、町田(まちだ) 和子(わこ)、竹下(たけした) 慎(しん)、引間(ひきま) 晴美(はるみ)、高梨(たかなし) 裕美(ゆうみ)、川田(かわた) 敬(たかし)、高野(たかの) 和音(わね)、倉林(くらばやし) 大樹(だいきう)、黒澤(くろさわ) 宏子(ひろこ)、さとう、村(むら)上(かみ) 正明(まさあき)、加藤(かとう) 秀子(ひでこ)、大野(おおの) 政子(まさこ)、益田(ますだ) 真砂子(まきこ)、みやま、宮城(みやぎ) 雅彦(みやび)、加藤(かとう) 瑞香(みずか)、坂本(さかもと) 貴志(たかし)、さかち、あゆみ、さいとう、りか、はせがわ、えみ、たかの、はるみ、みずの、こ、よし、あし、おりの、新井(にい) 悠起子(ゆうきこ)、他(ほか)講師(こうし)の先生(せんせい)方(かた)、登録(とうろく)ヘルパー多数(たすう)

よろしくお願(ねが)いします

< キャップ >

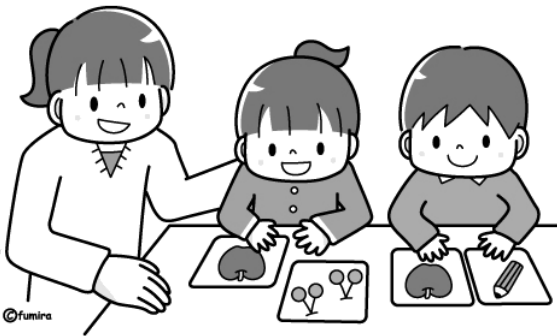


キャップでは、就労を希望する方に、必要に応じてMWS（幕張式ワークサンプル）というキットを使い、職業の適性を把握する簡単な検査を行っています。得意なこと、苦手なことなどを本人とキャップ職員が共有し、仕事を探するための参考とします。又、本人の特性を知ることは、仕事に就いた後、仕事が続けられるようお手伝いするときにも役立ちます。今後もMWSを活用し、本人にあった仕事を探し、長く勤められるよう支援に取り組んでいきたいとおもいます。

< フレンドリー >

フレンドリーでは、県や市町からの委託を受け、保育所や幼稚園、小学校の巡回相談を行っています。その事業には、専門職と保育士が携わっています。専門職は現在、臨床発達心理士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、療育相談員が在籍し、身体や心の発達に対する支援を行っています。昨年度より、専門職の人数も少し

ずつ増やしています。今年度は、新しい先生方ともチームワークを強め、地域でよりよい支援が行えるように努めていきます。



< わくわくクラブ >

わくわくクラブでは現在、小さなお子さんからご高齢の方まで、幅広い利用者の方にご利用いただいています。平成27年度は、特に児童の方のご利用希望に多く対応することができました。例えば温泉へ行った時、ヘルパーと一緒にマナーを勉強しながら、自分の衣類を畳むことや、買い物へ行った際には、支払いを自分で行ってもらう機会も提供しています。ご家族の方へ報告した際に、とても喜んでいただきました。地域の中での経験を積んでいくことで新たな一面が見られる場面も多く、ヘルパーとしてうれしく感じています。

今年度の目標として、サービスの質の向上に努めていきます。皆様のご利用希望に合わせて、さまざまなサービス提供を行えるようにしていきます。



< キッズクラブ >

キッズクラブは今年度で2年目を迎えました。おかげさまで定員数まで利用者数を増やし軌道に乗ってきたところです。小学1年生から高校3年生の方が対象で、学校が終わった後に利用する目的となっています。

主に、学校からの宿題、課題、遊びを中心に元気に楽しく過ごせる空間となっています。一人一人にあったサービスを提供できるように支援員も一緒に勉強しながら取り組んでいます。簡単な紹介ですがキッズクラブをよろしくお願ひいたします。



★ わくわくクラブ
からのお願い

＊今年度もお申し込みの手続き、よろしくお願ひいたします！

○生活サポート事業 4月～順次行っています。

○移動支援事業 4～7月頃を予定しています。

※受給者証、移動支援利用票、生活サポート事業利用票等、変更時には必ず、わくわくクラブへご連絡頂きますようお願いいたします。なお、今年度よりサービス時には利用票等の提示にご協力下さい。